

平成 26 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 26 年 6 月 28 (土) に開催した石見銀山基金事業公開審査会により、平成 26 年度 7 以降に実施する石見銀山基金事業について、候補事業（要望事業）の公開プレゼンテーションと審査を行った。

今回、審査の対象となったのは、一般事業 2 次に 3 団体、一般事業初挑戦枠に 2 団体の合計 5 団体から要望のあった 5 つの事業で、審査の結果、5 事業すべてが基準点以上の評価を受け、石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 石見銀山基金事業選定委員会委員名簿
- ・ 一般事業リスト
- ・ 一般事業審査表
- ・ 選定基準

■石見銀山基金事業選定委員会委員名簿

(任期：平成25年 6月 1日～平成28年 3月31日)

氏名	職業・所属団体・役職	備考
渡邊 一正	NPO 市民文化財ネットワーク鳥取 理事長	委員長
久保田 典男	島根県立大学 准教授	副委員長
高須 佳奈	島根大学 特任講師	
榎 恒雄	大田商工会議所 前専務理事	
椿 真治	島根県教育庁文化財課 調整監	
青木 裕志	大田市 副市長	

※石見銀山基金事業公開審査会（平成26年6月28日開催）

（出席）渡邊委員、久保田委員、榎委員、椿委員、青木委員

■ 一般事業リスト

事業項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
一般事業 2次	石見銀山の景観を考える会	地域学習のための教材作成	<p>活動の成果を社会人向けの地域教材にすることを目的としており、おもに近代以降を対象に、石見銀山だけでなく広範囲での中山間地域の里山と暮らしの関わりという問題が意識できるような教材を作成する。</p> <p>学習を通して、地域資源の活用や石見銀山を中心とした地域全体の今後のあり方を考えることができる内容とする。</p> <p>さらに、教材を用いたワークショップを実施し、教材の効果の検証を行う。</p>	<p>この教材が地域の今後のあり方、バッファゾーンを含む世界遺産のエリアの管理を検討する教材になると期待される。</p> <p>副次的な効果としては、竹紙を使用するなど、地域の資源を活用した教材作成を考えている。</p> <p>また教材を用いたワークショップを開催することで、行政やNPO 法人、資料館など地域の様々な組織と連携した生涯学習の仕組みの構築にもつなげていきたい。</p>
	NPO 法人 しまね歴史文化ネットワークもくもく	石見銀山を活かす活動「石見銀山三日籠り」2014	<p>石見銀山エリアにおいて石見銀山の歴史や生活・文化、あるいは関連するテーマをタイトルにした講座や遺跡踏査、街道、町並み探索などのフィールドワーク、さらに地域住民とゲストとのトークセッションなどを組み合わせた滞在型体験学習講座を行う。</p> <p>本年度は、主テーマを「産業遺産と住民活動」として、全国各地での産業遺産の保全や活用に取り組んでいる自治体や市民団体などを招聘して公開フォーラムを開催する。</p>	<p>参加者のうち、学生は卒業後も文化行政や観光業に携わりながら、業務の一環としてあるいは地域住民との交流を求めて頻繁に来訪する人もおり、社会人では、世界遺産登録を目指す自治体の世界遺産担当者の参加も見られ、石見銀山の世界遺産登録の経緯や住民活動の様子などを学んでいる。</p> <p>また、数日間ゆっくり滞在しながらその多様な資源を楽しむ文化観光の推進が望まれており、石見銀山ファンの増大を見込んでいる。</p> <p>大田市では住民の「石見銀山学」が推進されているがこの事業では参加者のみならず、開催期間中に来訪した観光客や地元住民にも講座会場を公開して聴講してもらう。</p> <p>地域内での学習機会を提供することで、石見銀山学がさらに広がるものと考えている。</p>
	さひめやま 佐毘賣山神社を守る会	「世界を動かした世界遺産・石見銀山」の書籍出版	「世界を動かした世界遺産・石見銀山(著者:渡辺辰朗)」の出版事業を行う。	<p>平成25年の東京における「石見銀山伝」で講演会を開催したが聴講者が殺到したので、その内容を親しみやすい石見銀山解説入門書として出版する。</p> <p>また、地元の読者にとっても石見銀山に対して深い関心を示し、郷土愛を育んでもらうことで遺跡の保存活動や遺跡に関する伝統文化に関心を持ってもらう。</p> <p>著者の島根遣島使ネットワークでの推薦図書館への寄付を計画しており、大田市のみならず島根県内を中心とした全国の図書館に蔵書として置かれ、回読されることにより、石見銀山のPR効果はさらに高まる。</p>

■ 一般事業初挑戦枠リスト

事業項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
一般事業 初挑戦枠	株式会社 とも かなぐら 銀蔵 鞆の	サテライト施設 ともかん 鞆館パンフレット制 作	<p>サテライト施設鞆館のある鞆ヶ浦の来訪者状況を見ると馬路地域活性化を含め、満足のできる状況ではなかった。</p> <p>要因の一つに情報発信の手法が他の世界遺産地域と比べ少ないという課題が見えてきた。</p> <p>今回鞆館のパンフレットを新たに、周辺情報を入れたものに作り替え来訪者増を目的とした情報発信を行う。</p>	<p>情報発信による来訪者増につながり、地域住民・地域外への鞆ヶ浦再認識に繋がる。</p>
	石見伝統建築文化研究会	石見銀山周辺域における歴史的建造物の調査	<p>石見銀山の中心域の外側に存在する寺社・古民家など近世から近代にかけて創建され現在に至っている歴史的建造物の調査を行う。</p> <p>初年度は主に数量・分布調査を行い、その成果を踏まえ、次年度以降の調査計画を立てる。</p>	<p>寺社及び古民家の数量と分布調査を主として行い、調査票・リストを冊子としてまとめることで、調査研究の基礎資料とすることができる。</p> <p>また、古民家については文化財的価値を認識できる、例えば指定文化財または登録文化財を目指せる歴史的建造物のリストを作成する。</p> <p>この事業(継続事業)において、歴史的建造物の建築年代、建築様式、図面等の調査成果資料をまとめることにより、その歴史的、文化的価値を後世に伝えることができる。</p>

■ 一般事業 選定結果表

事業項目	申請団体	事業名	評価点	採否 採 択 ○ 不採 択 ×	備考
			平均点 (100 点満点)		
一般事業	石見銀山の景観を考える会	地域学習のための教材作成	80.0	○	
	NPO 法人しまね歴史文化ネットワークもくもく	石見銀山を活かす活動 「石見銀山三日籠り」2014	81.8	○	条件付き ※別紙参照
	さひめやま 佐毘賣山神社を守る会	「世界を動かした世界遺産・石見銀山」 の書籍出版	72.6	○	条件付き ※別紙参照

※ 平均点の6割以上の点数を獲得した団体の中から、獲得点数の高い順に選定（事業採択）

■ 一般事業初挑戦枠 選定結果表

事業項目	申請団体	事業名	評価点	採否 採 択 ○ 不採 択 ×	備考
			平均点 (100 点満点)		
一般事業 初挑戦枠	株式会社 とも かなぐら の 銀 蔵	サテライト施設 ともかん 館 パンフレット制作	74.2	○	
	石見伝統建築文化研究会	石見銀山周辺域における歴史的建造物 の調査	85.4	○	

※ 平均点の6割以上の点数を獲得した団体の中から、獲得点数の高い順に選定（事業採択）

選定委員会からの条件

○NPO 法人しまね歴史文化ネットワークもくもく 石見銀山を活かす活動「石見銀山三日籠り」2014

1. 収支予算変更に伴う要望書の再度提出で、事業内容や収支予算等を明確にすること。

○さひめやま佐毘賣山神社を守る会 「世界を動かした世界遺産・石見銀山」の書籍出版

1. 無償配布分に限り、補助金を助成すること。
2. 監修を行ってもらうこと。
3. 要望書の再度提出で、事業内容や収支予算等を明確にすること。

■一般事業 選定基準

選定委員会は、次の評価項目について審査し、その総得点の6割以上の点数を獲得した団体から順次、獲得点数の高い順に選定事業に選定します。

(1) 評価項目及び評価の着眼点

評価項目	評価の着眼点
①継承性	I 地域共通の課題の存在を認識し解決を図る取組か。 II 未来の世代に良好な地域環境や地域社会をもたらす取組か。 III 目的を共有する誰もが参加できる組織による取組か。
②必要性	I 社会情勢に応じてニーズが高い事業か。 II 取り組む必要性が明確な事業か。
③社会的公益性、 地域貢献性	I 広く地域、社会に貢献する活動か。 II 広く公開された事業であるか。 III 応募団体の構成員や特定の個人、団体が対象となる利益事業ではないか。 IV 実施事業が団体で完結するのではなく、地域や住民との連携を伴うものであるか。 V 事業内容が地域課題の解決や活力の創出などに貢献する内容であるか。
④発展可能性	I 今後、その成果の広がりを期待できる活動か。 II 次世代の育成につながる活動か。 III 今後、継続して取り組める体制、計画か。 IV 自主財源の確保が可能か。
⑤実現可能性、 団体の事業遂行 能力	I 実施体制、事業計画（規模・内容）、資金計画（財源や用途）、スケジュールなど無理のない実現可能な活動か。 II 応募団体が企画及び事業遂行能力を持っているか。
⑥石見銀山らし さ	I 石見銀山の歴史、文化、自然、社会基盤などを活かす事業であるか。 II 石見銀山の新たな価値を見出し、地域への誇りを醸成する取り組みであるか。
⑦事業の新規性、 実効性	I この地域に新たに価値を付加する事業内容であるか。 II 新たな視点、発想、工夫やアイデアの企画、提案で独創性や創造性を感じられるか。 III 事業が具体的かつ実効性を持つものであるか。 IV 実施により想定される効果が期待できるか。 V 費用に対しての効果が認められるか。
⑧団体の広報力	応募団体が事業実施の際し、十分な事業告知を行い基金活用の趣旨を伝えうるか。
⑨プレゼンテー ション	プレゼンテーションにおいて、的確かつ魅力的に事業を説明できたか。
⑩費用の妥当性	活動の内容に見合った経費見積もりとなっているか。

(2) 評価方法

(1) の評価項目毎に別に基準を設けて、11段階評価で行います。

(各選定委員の最高点：10項目×10点＝100点)

■一般事業初挑戦枠 選定基準

選定委員会は、次の評価項目について審査し、その総得点の6割以上の点数を獲得した団体から順次、獲得点数の高い順に選定事業に選定します。

(1) 評価項目及び評価の着眼点

評価項目	評価の着眼点	配点
①継承性	I 地域共通の課題の存在を認識し解決を図る取組か。 II 未来の世代に良好な地域環境や地域社会をもたらす取組か。 III 目的を共有する誰もが参加できる組織による取組か。	5
②必要性	I 社会情勢に応じてニーズが高い事業か。 II 取り組む必要性が明確な事業か。	10
③社会的公益性、地域貢献性	I 広く地域、社会に貢献する活動か。 II 広く公開された事業であるか。 III 応募団体の構成員や特定の個人、団体が対象となる利益事業ではないか。 IV 実施事業が団体で完結するのではなく、地域や住民との連携を伴うものであるか。 V 事業内容が地域課題の解決や活力の創出などに貢献する内容であるか。	10
④発展可能性	I 今後、その成果の広がり期待できる活動か。 II 次世代の育成につながる活動か。 III 今後、継続して取り組める体制、計画か。 IV 自主財源の確保が可能か。	20
⑤実現可能性、団体の事業遂行能力	I 実施体制、事業計画（規模・内容）、資金計画（財源や用途）、スケジュールなど無理のない実現可能な活動か。 II 応募団体が企画及び事業遂行能力を持っているか。	10
⑥石見銀山らしさ	I 石見銀山の歴史、文化、自然、社会基盤などを活かす事業であるか。 II 石見銀山の新たな価値を見出し、地域への誇りを醸成する取り組みであるか。	10
⑦事業の新規性、実効性	I この地域に新たに価値を付加する事業内容であるか。 II 新たな視点、発想、工夫やアイデアの企画、提案で独創性や創造性を感じられるか。 III 事業が具体的かつ実効性を持つものであるか。 IV 実施により想定される効果が期待できるか。 V 費用に対しての効果が認められるか。	20
⑧団体の広報力	応募団体が事業実施の際し、十分な事業告知を行い基金活用の趣旨を伝えるか。	5
⑨プレゼンテーション	プレゼンテーションにおいて、的確かつ魅力的に事業を説明できたか。	5
⑩費用の妥当性	活動の内容に見合った経費見積もりとなっているか。	5

(2) 評価方法

(1) の評価項目毎に別に基準を設けて、評価を行います。(各選定委員の最高点：100点)